

竹野海岸エリアへGO!!

見る

「はさかり岩」は、間隔約2・5メートルの突き出した2つの岩柱の間に楕円形の岩塊が挟まって、奇観を呈しています。兵庫県の天然記念物にも指定されています。

竹野海岸は、地質多様性で生まれた複雑な地形をしており、猫崎半島は、季節風を遮り、北前船の風待港になり、物流の拠点、文化交流の拠点となっていました。
竹野では、古くからジオの恩恵を受けて、文化、産業、経済が発展してきました。

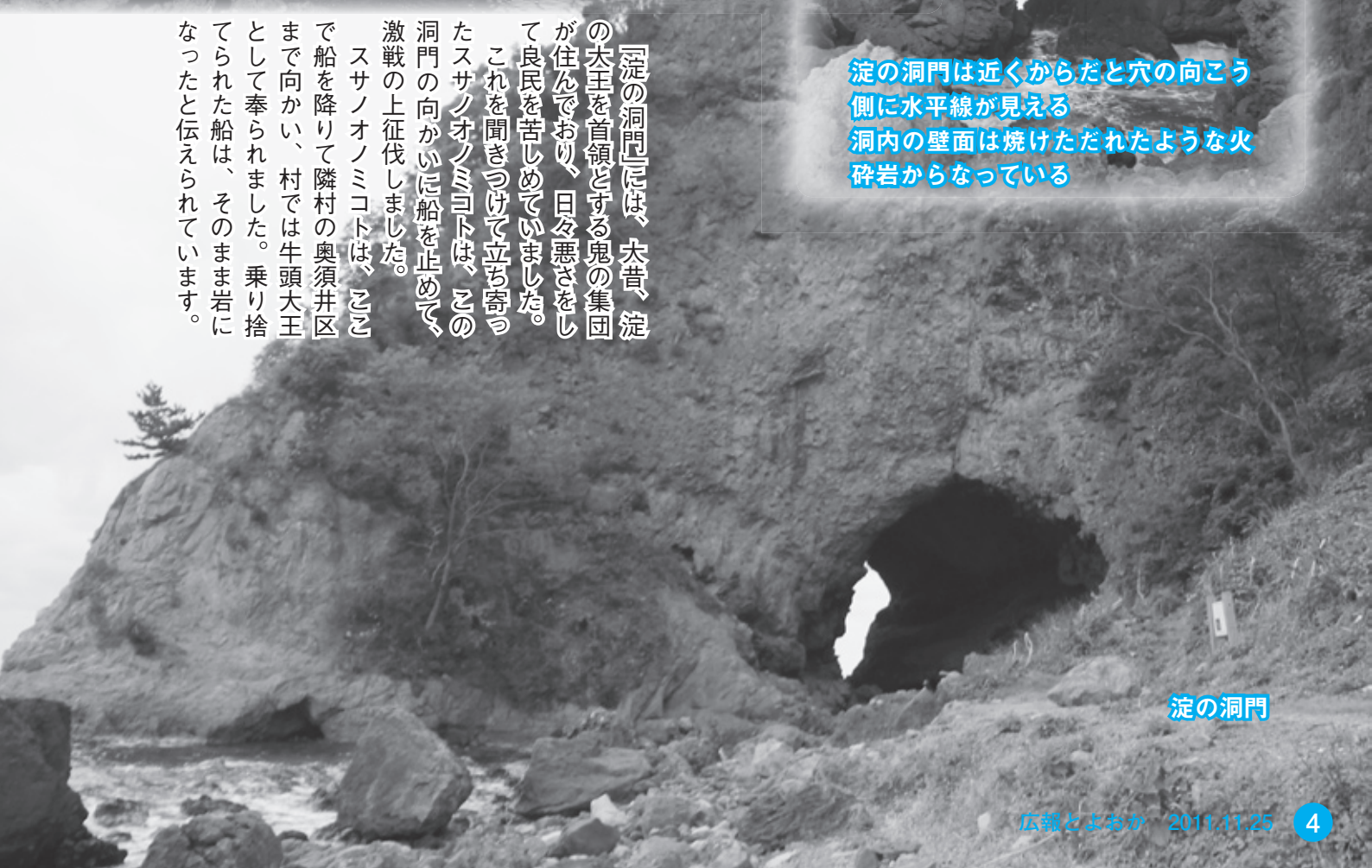


はさかり岩



淀の洞門は近くからだと穴の向こう側に水平線が見える
洞内の壁面は焼けたような火砕岩からなっている

「淀の洞門」には、大昔、淀の大王を首領とする鬼の集団が住んでおり、日々悪さをして良民を苦しめていました。これを聞きつけて立ち寄ったスサノオノミコトは、この洞門の向かいに船を止めて、激戦の上征伐しました。
スサノオノミコトは、ここで船を降りて隣村の奥須井区まで向かい、村では牛頭大王として奉られました。乗り捨てられた船は、そのまま岩になつたと伝えられています。



淀の洞門



山陰海岸ジオパーク世界認定記念大会
竹野浜オープンウォータースイミング大会



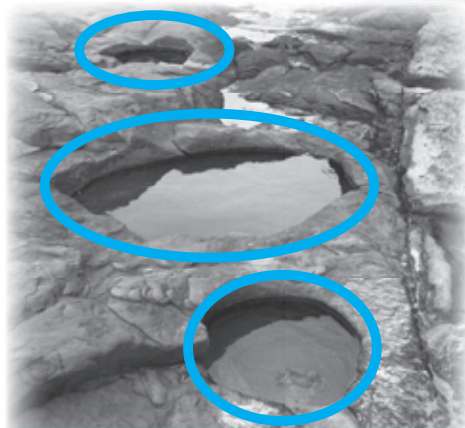
▲オープンウォータースイミング大会会長（たけの観光協会会長）岩井美晴さん

竹野では、昔から遠泳大会を行っていました。この山陰海岸の素晴らしい海を生かす方法として、北京オリンピックで正式種目になって以来、注目が高まっているオープンウォータースイミング大会を開催しました。今後は、他の地域と連携し、総合優勝（鉄人）を競うようなイベントも検討していきます。

学ぶ



ゾウの足跡化石



三つ並んだ波と小石の作用でできた
甑穴おうけつ（ポットホール）



竹野エリアガイド（株式会社北前館支配人）の宮部岩雄が紹介します。

北前館では、団体で予約すると、竹野沖の日本海の海水から作った竹野の塩（誕生の塩）を使用したジオ（塩）焼きそばや、竹野の海の幸を使用したジオ御膳を提供しています。

竹野海岸周辺には、日本列島がユーラシア大陸と陸続きであった証拠がいくつも見つかっています。海岸の砂や泥が固まった地層の中や表面に、ゾウの足跡化石や立木の化石、シカあるいはイノシシの足跡化石などを見ることができます。

ここ竹野海岸エリアでは、地層、地質からこうした日本列島の成り立ちを学習することができます。

また、来年、地元宿泊施設がジオパークガイドの一環として、観光客にカヌーに乗ってもらい、ジオエリアを案内する「ジオカヌー」(有料)を実施する予定です。

▷ジオパークガイド申込み:北前館☎47-2020(基本料金5,000円、事前申込み要)※竹野の歴史(北前船)の説明も行います。